

会議名称		第1回杉並区一体型GIS構築等業務受託者候補者選定委員会
日時		令和7年5月8日(木) 午後2時
場所		杉並区役所中棟4階 理事者控室
出席者	委員名	電気通信大学 山本 佳世子 日本大学 関根 智子 東京都市大学 秋山 祐樹 杉並区都市整備部土木担当部長 三浦 純悦 杉並区政策経営部デジタル戦略担当課長 眞鍋 稔晴
	事務局	都市整備部土木管理課長 安藤 武彦 都市整備部土木管理課道路台帳係長 鈴木 和昇 都市整備部土木管理課道路台帳係 森川 誠二 都市整備部土木管理課道路台帳係 吉塚 優騎
配布資料		・式次第 ・資料1 選定委員会委員名簿 ・資料2 実施要領(素案) ・資料3 提出書類様式(様式1～4) ・資料4 評価基準・配点表(案)
会議次第		1. 開 会 2. 委員紹介(会長選出) 3. 実施要領及び評価基準の決定 4. 今後の選定会議日程について 5. その他

会議の結果及び
主要な発言

会長は、山本氏となった。
事務局から選定委員会の運営と所掌事項、実施要領（素案）、選定方法等について、説明を行った。

○主な意見及び質疑

- ・杉並区は業務においてGISを積極的に利活用しているため、ユーザー（職員）の意見を重視していただきたい。
- ・ユーザーニーズへの対応として、システムの拡張性を評価に含めるのはどうか。
- ・今まで利用していないユーザーが使いたいと思えることが重要。
- ・スケジュールについて、少しタイトではないか。

各委員からの意見を踏まえて、以下の３点を修正することとした。

- ・事務局において、普段GISを利用する職員とGISになじみの無い職員から現行システムと新しいシステムに関する意見をアンケート形式で募り、本委員会へ報告すること。
- ・評価基準にシステムの拡張性を追加すること。
- ・スケジュールの見直し。

次回の開催について

令和7年7月1日（火）午後2時00分～
杉並区役所中棟4階 理事者控室

会議名称		第2回杉並区一体型GIS構築等業務受託者候補者選定委員会
日時		令和7年7月1日(火) 午後2時
場所		杉並区役所中棟4階 理事者控室
出席者	委員名	電気通信大学 山本 佳世子 日本大学 関根 智子 東京都市大学 秋山 祐樹 杉並区都市整備部土木担当部長 三浦 純悦 杉並区政策経営部デジタル戦略担当課長 眞鍋 稔晴
	事務局	都市整備部土木管理課長 安藤 武彦 都市整備部土木管理課道路台帳係 森川 誠二 都市整備部土木管理課道路台帳係 吉塚 優騎
配布資料		・式次第 ・資料1 経営状況分析報告書 ・資料2 評価基準・採点表
会議次第		1. 開 会 2. 議題 (1) 第一次審査について (2) 第一次審査結果及び第二次審査対象事業者について 3. その他

会議の結果及び
主要な発言

各委員から事前に提出のあった第一次審査評価表及び公認会計士による事業者の経営状況分析結果について共有を行った。その結果、書類審査配点合計の6割以上を取得した事業者を第一次審査通過事業者として決定した。

また、事務局から第二次審査実施概要について説明を行い、スケジュール等第二次審査の内容について決定した。

○主な意見及び質疑

- ・東京都の防災システム連携について、自動連携の可否を含めて提案の詳細を二次審査で確認したい。
- ・外部委員は、防災業務を含めた区の実務について、把握が難しいため、内部委員からの質疑がより重要になってくると考える。
- ・区役所は異動が多いため、異動後の職員が操作に慣れるようなサポート体制が整っているべきである。
- ・システムに関する説明は丁寧であっても、操作に不慣れなユーザーに対するサポートが適切に行われるのかが疑問である。

上記の意見を踏まえ、第二次審査において、防災システム連携及び不慣れなユーザーに対するサポート体制に関する提案の詳細を事業者から説明することとした。

次回の開催について
令和7年7月23日（水）午後2時00分～
杉並区役所西棟6階 第7会議室

会議名称		第3回杉並区一体型GIS構築等業務受託者候補者選定委員会
日時		令和7年7月23日(水) 午後2時
場所		杉並区役所西棟6階 第7会議室
出席者	委員名	電気通信大学 山本 佳世子 日本大学 関根 智子 東京都市大学 秋山 祐樹 杉並区都市整備部土木担当部長 三浦 純悦 杉並区政策経営部デジタル戦略担当課長 眞鍋 稔晴
	事務局	都市整備部土木管理課長 安藤 武彦 都市整備部土木管理課道路台帳係長 鈴木 和昇 都市整備部土木管理課道路台帳係 森川 誠二 都市整備部土木管理課道路台帳係 吉塚 優騎
配布資料		・式次第 ・資料1 タイムスケジュール ・資料2 採点表 ・資料3 H P 公表案
会議次第		1. 開 会 2. 議題 (1) 第二次審査について (2) 第二次審査対象事業者によるプレゼンテーション (3) 受託者候補者の選定 3. その他

会議の結果及び
主要な発言

事務局から、第二次審査の進め方等について説明を行い、プレゼンテーション・ヒアリング審査を実施した。第一次審査及び第二次審査の各委員の採点結果をもとに、受託者候補者を選定した。

○主な意見及び質疑

- ・プラトー活用の積極的な提案をしてもらえるのか
→業務に密接した活用例は少ないのが現状。ヒアリングの中でできることを提案したい。ハザードマップ等との組合せなど。
- ・UIはバリアフリーに対応できるか。
→文字サイズではバリアフリーの対応ができる、他自治体ではバリアフリーマップのアイコンの色を判別しやすいように工夫している。
- ・導入事例において困難点はあったか。
→境界点印刷の検討に時間がかかった。公開型GISの導入が初めての自治体では、試験運用期間やマニュアルを設けて対応した。
- ・メンテナンスにおいて、電話は17:15まで、メールは24時間とのことだが、メールは返信までにどの程度の日数を要するか。
→簡単な質問は当日中に対応する。難しい質問に関しては、一時対応を行ったうえで翌日に回答するケースが多い。
- ・住民が要望等を入力することができるか。
→道路の損傷の状況を投稿できる機能がある。こちらは平常時の対応のため投稿前に職員のチェックが行われているが、チェックを行わずに即時反映する技術もある。
- ・システムサポートの具体的な内容はなにか。
→研修動画については、汎用的な内容から上級者向けの研修を予定している。研修内容を録画して動画形式での提供を予定している。自席で学習できるような環境を提供したい。
- ・公開型GISの地図の活用方法は提案はあるか。
→公開型GISは情報を見るだけでなく、マイマップのように自治会等で独自の防災地図を作成する活用方法もある。簡単な作図機能を備えている。
- ・来年の4月から運用開始予定であるが、切替のスケジュールをどう考えているか。
→統合型GISは1月中を目途に、機器の入替えを行う。公開型GISは3月を目途に、少なくとも1か月の試験運用期間を設ける。
- ・GISを使うと動作が重いことがある。実際どの程度サクサク動くのか。
→地図の配信が早い特徴がある。他の自治体からも好評をいただいている。ただし、実際の運用を行った際に遅延が発生することもある。この場合は、データの構造をチューニングして提案する。
- ・有事の際に人口の多い杉並区では大量のアクセスがありシステムがパンクするのではないか。
→大規模災害時や台風発生時はサーバの強化を行っている。

上記の質疑等を踏まえ、第一次審査及び第二次審査の結果、配点合計に対する評価点合計が6割以上であるため、事業者を受託者候補者として選定した。